

4. 地方からの便り

聴覚障害の皆さんが防災体験や救急講習を実施！！

大阪府 泉佐野市消防本部



泉佐野市消防本部（木ノ元正春消防長）では、5月15日(土)10時から16時まで、消防本部において社会福祉法人水平会 障害者支援センターホライズンに通所されている聴覚障害者の皆さんとともに、防災体験や救急講習を実施しました。

この講習には、ボランティアの手話通訳の方2名と9名の聴覚障害者の方が参加され、午前中は消防本部4階に併設された防災学習センター（りんくうセーフティーピア）で地震体験や煙体験、そして屋外において天ぷら油火災実験や実際に消火器を使用

しての消火体験などを実施し、午後からは、大出血時の止血法や心肺蘇生法の実技を中心とした救急講習を実施しました。

木ノ元消防長は、「障害をお持ちの方が積極的に防火や救急に関することを学ぼうとされる姿勢には、私達職員も学ばせていただく部分が大いにあると思っております。これを契機に今後も、多くの方と接点を増やしていきたいと考えている。」と語り、また、受講者は、「救急講習の最後に5分間心肺蘇生法の実技テストがあり、本当に緊張した。今日は、実際の消火器を用いて消火体験ができたことや救急の講習会でいざという時に救急車を要請するポイントなど具体的な説明があり、とても参考になった。」と語っておりました。

[▲ このページの上に戻る](#)

楽しく、難しくなく、みんなが輪となり～養護学校で音楽を通じ火災予防を呼びかける～

大阪府 泉佐野市消防本部

泉佐野市消防本部（木ノ元正春消防長）では、5月11日(火)10時から12時まで、大阪府立佐野養護学校で生徒並びに保護者(計約250名)を対象に音楽を通じ、火災予防の広報を実施しました。

これは、音楽を通じ、誰にでも親しまれる消防広報の実施を目的に平成11年4月1日に発足した消防音楽隊が新たな試みとして演奏中に防火衣の早着や拍子木を使用して全員で「火の用心のうた」を合唱するなど、「楽しく」「難しくなく」「みんなが輪となり」を目標に実施したものです。

木ノ元消防長は、「本年4月に消防長に就任したが、職員一人ひとりが前向きに、いろいろな発想で火災予防を広めている姿勢は、先輩から受け継いだ大きな財産である。更にこれを大きくし、管内の火災を1件でも減らしたい。」と語っていました。



▲ [このページの上に戻る](#)

災害に強い町づくり

福島県 相馬地方広域消防本部



鹿島町自主防災会研修会が町内の万葉ふれあいセンターで開かれ町民が災害に強い町づくり目指して意識を新たにしました。

相馬地方広域消防本部は「自分たちのまちは自分たちで守る」という理念のもと、各市町村の各行政区ごとに自主防災会の結成を推進しています。

鹿島町は平成14年8月に小島田行政区が自主防災会を結成し、相馬地方で初めて全行政区で自主防災会を結成しました。

研修会には町民約200人が参加し、高荒昌展助役、但野安俊消防団長が挨拶され、相馬消防署鹿島分署の福島昭分署長が防災について講話されました。

防災に関するビデオの上映後、参加者は3班に分かれて、起震車で震度7などの地震の揺れを体験したり、初期消火訓練を行い、万が一に備えていました。

宮城県北部地震直後の研修会となり、参加者の防災に対する意識が強く、各自とも各訓練を積極的に実施していました。

また、この研修会を通して、各自主防災会単位の防災訓練等の必要性を強く感じました。



▲ このページの上に戻る



山県市女性防火研修会の実施

岐阜県 山県市消防本部

山県市は「平成の大合併」により平成15年4月1日に東海地区第1号として市制施行となり県内15番目の市として誕生しました。



市制により女性防火クラブも旧三町村で結成していた山県郡女性防火クラブ連絡協議会を解散し、組織並びに役員構成も新たに市内を12分会に分け、クラブ員数761名で山県市女性防火クラブ運営協議会として発足致しました。



新組織となり第1回目の防火研修会を開催し実技研修として、天ぷら油火災をスプレー式消火器による消火訓練、防災製品燃焼実験、煙体験、応急手当訓練が行われました。



また、起震車による地震体験を行い、その後「災害に強いまちづくり」と題して、レスキューストックヤード代表理事 西田又紀二氏の講演を拝聴し「家庭の防火は女性の手で」を合言葉としてゼロ火災を誓い、研修会を終了致しました。

[▲ このページの上に戻る](#)

八女市少年消防クラブ大会

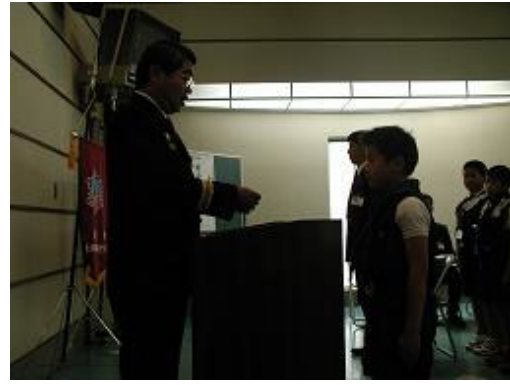
福岡県 八女市消防本部

八女市少年消防クラブ大会が八女市伝統工芸館において開催されました。

大会ではクラブ員にクラブ員証の交付が行われました。



その後、消火器取扱い訓練を通じ、消火器の使い方を学び、手作り和紙体験や火熾し体験を行い、クラブ員達は楽しく防火について学んでおりました。



なお、八女消防本部管内の少年消防クラブも5月、6月に開催しております。



[▲ このページの上に戻る](#)

八女市少年消防クラブがTV取材

福岡県 八女市消防本部



6月6日、八女市少年消防クラブ川崎支部が、TV九州放送のテレビ番組「ふくおか探検隊が行く！」の取材を受けました。



これは、地域の自主防災組織「少年消防クラブ」の活動を紹介し、防災に対する意識向上を図るのが番組の目的であり、八女市少年消防クラブ川崎支部が選ばれたものです。

今回は、水害や水難事故の講話を行い、防災活動の一つとして、水難事故を呼びかける看板づくりをし、近くの河川流域に設置しました。

クラブ員達は、暑い日差しの中、番組出演者と楽しみながら、看板づくりを行い、また防災に対する意識の向上が図られたのではないかと思います。



▲このページの上に戻る